

平成28年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」
の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条の規定に基づき議会に提出

飯豊町教育委員会

目 次

- 1 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1 教育委員会の活動状況

飯豊町教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則（昭和44年7月17日教委規則第2号）により、委員長が必要と認めた場合において開催することとしている。
- (2) 教育委員会会議については、原則公開としているが、平成28年度において傍聴者はなかった。
- (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。
なお、平成28年度の開催状況は以下のとおりである。

平成28年第4回教育委員会(H28.4.1)

議事

- (1) 飯豊町スクールカウンセラーの委嘱について
- (2) 飯豊町スポーツ推進委員の委嘱について

平成28年第5回教育委員会(H28.4.22)

議事

- (1) 飯豊町幼保連携型認定子ども園費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 飯豊町立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 飯豊町保育所費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 飯豊町児童厚生施設運営規則の一部を改正する規則の制定について
- (5) 飯豊町公民館運営審議会設置要綱の設定について

- (6) 飯豊町立学校医の委嘱について
- (7) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (8) 飯豊町立学校薬剤師の委嘱について
- (9) 飯豊町立保育園嘱託医の委嘱について
- (10) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- (11) 飯豊町社会教育委員の任命について
- (12) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (13) 飯豊町公民館分館長の委嘱について

平成28年第6回教育委員会(H28.5.27)

議事

- (1) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (2) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について
- (3) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
- (4) 飯豊町子ども・子育て会議委員の委嘱について
- (5) 飯豊町スポーツ推進審議会委員の任命について

平成28年第7回教育委員会(H28.8.23)

議事

- (1) 平成29年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択について
- (2) 平成27年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

平成28年第8回教育委員会(H28.10.3)

議事

- (1) 飯豊町幼保連携型認定子ども園管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 飯豊町立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則の制定について

- (3) 飯豊町保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 飯豊町児童厚生施設運営規則の一部を改正する規則の制定について

平成28年第9回教育委員会(H28.12.28)

議事

- (1) 飯豊町教育委員会職員の懲戒処分について

平成29年第1回教育委員会(H29.2.24)

議事

- (1) 平成29年度飯豊町学校教育指針について
- (2) 平成29年度飯豊町社会教育指針について

平成29年第2回教育委員会(H29.3.9)

議事

- (1) 平成29年度教職員人事異動の内申について

平成29年第3回教育委員会(H29.3.24)

議事

- (1) 飯豊町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 飯豊町幼保連携型認定こども園管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 飯豊町学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 飯豊町放課後児童健全育成事業の実施に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- (5) 平成29年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (6) 平成29年度飯豊町特別支援教育就学奨励費の交付認定について

- (7) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (8) 飯豊町立保育園嘱託医の委嘱について
- (9) 飯豊町スクールカウンセラーの委嘱について
- (10) 飯豊町地区公民館長の任命について
- (11) 飯豊町社会教育推進員の委嘱について
- (12) 平成29年度飯豊町職員人事異動の内申について
- (13) 飯豊町幼保連携型認定こども園長の任命について

2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

平成28年第2回教育委員会協議会(H28.10.3)

- (1) 小学校及び幼児施設の今後の在り方について

3 教育懇談会、研修会への参加等

教育懇談会に参加したほか、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加し、教育における諸課題について研修した。

[教育懇談会]

- (1) 平成28年度飯豊町教育懇談会(H28.11.28)

[教育委員研修]

- (1) 山形県市町村教育委員大会(H28.8.5)

・記念講演 「図書館の可能性を探る」

講師：前国立国会図書館長 大滝 則忠 氏

- (2) 西置賜地区教育委員会協議会研修会(H29.2.17)

・講演 「コミュニティ・スクールの設置、運営について」

講師：大石田町教育委員会 教育長 布川 元 氏

[学校等訪問]

各小中学校及びわくわくこども園幼児部訪問 (H28.7.5)

2 教育委員会の事務の点検・評価

(重点項目) 学校教育の充実

◇目標 安心・安全で楽しく学べる学習環境の整備を図るとともに、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図ります。また、子ども達の望ましい教育環境を確保するため、今後の学校の在り方について検討を進めます。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 教育環境の充実</p>	<p>①問題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動、問題行動の未然防止のため学校支援員や児童生徒相談員を各校に配置するとともに、教育相談体制の充実を図ってきた。</p> <p>②いじめ問題は、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを認識し、いじめの早期発見及び対応に努めるとともに、平成26年度に「飯豊町いじめ防止基本方針」を策定した。また、いじめの未然防止に向けては、学校における取組状況の点検や教員研修の充実を啓発し、指導主事やスクールカウンセラーによる個別の相談活動や指導・助言を行った。</p> <p>また、「Q-Uテスト」を全校で実施するとともに、スクールカウンセラーによる心理相談を実施した。</p>	<p>①学校支援員等の配置（達成） ◇児童生徒自立支援員1名、学校支援員6名、学習指導員1名を配置し、学習活動の支援や相談活動等にあたった。</p> <p>②中学校は、1学期に5件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、内4件は同学期中に解消が図られ、もう1件は2学期に解消された。また、2学期にも新たに1件の報告があり、学校いじめ防止方針に基づいて対応し、3学期に解消となった。小学校は、いじめの報告は0件であった。（達成）</p>		<p>①引き続き各校への学校支援員の配置に努めるとともに、有資格者の確保と支援員研修を実施していく。</p> <p>②いじめ問題に対する取組を学校と教育委員会が一丸となって進め、児童生徒や家庭との信頼関係を築きながら、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めるとともに、関係機関が連携し、今後もいじめ問題の発生を未然に防ぐ取組を恒常的に実施する。また相談窓口を継続して設置し、その周知を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>③体罰の防止に向けては、体罰に関する正しい認識を徹底するための研修を学校等で行うとともに、学校に対し体罰を把握した場合には直ちに報告するよう求め、体罰の実態把握に努めた。また、既存の相談窓口を活用し児童生徒や保護者の悩みを相談することができる体制づくりを行った。</p> <p>④国際化社会に対応した教育施策の一環として、外国人の外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚の養成を図ってきた。</p> <p>⑤学校と家庭と地域の連携を深めるために、学校を中心として日常的な意見交換及び交流の場をつくってきた。</p>	<p>③学校における体罰件数は0件であった。（達成）</p> <p>④外国語指導助手の配置（達成） ◇小中学校及び幼児教育施設において、学習指導要領に基づく学習指導や異文化理解等が深められるよう、外国語指導助手を配置してきた。</p> <p>⑤学校・家庭・地域連携（達成） ◇学校運動会と地域スポレク大会の合同開催や、日常的な交通安全や防犯等の活動を通じて地域連携が行われている。</p>		<p>③教育現場において、教員や部活動の指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう学校支援を強化し、継続して体罰の発生防止に努める。また体罰に関する相談窓口を開設し広報等で周知を図る。</p> <p>④引き続き外国語指導助手の配置を行う。</p> <p>⑤引き続き、学校と家庭と地域が連携し、教育環境の充実を目指すとともに、地域で子どもたちを育てる意識を高めていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>⑥食育（食を通じた子どもの健全育成）活動を推進し、児童生徒が健全な食生活を自ら営むことができるよう、関係機関や各種団体等が連携し取り組みを進めてきた。</p> <p>⑦身近な地域教材や伝承文化、地域事業内容を総合的な学習の時間のプログラムに取り入れ、自然環境を活用した体験教室や地域を知るための郷土教育を推進してきた。</p>	<p>⑥食育の推進（ほぼ達成）</p> <p>◇栄養教諭による出前講話や「栄養ひとロメモ」の発行による栄養知識や食文化の普及に努めた。</p> <p>◇生産者との連携を強化しながら地場産農林畜産物の積極的な給食利用を行い、生産者と児童生徒の交流を通じ食育推進を図ってきた。</p> <p>◇県外産学校給食食材の事前の放射性物質検査や、1週間分の学校給食の事後の放射性物質検査を実施するとともに、衛生管理の徹底を行い、更なる学校給食の安全や安心の確保に努めた。</p> <p>⑦体験教室と郷土教育（達成）</p> <p>◇学校の活動を中心として、社会科町めぐり探検や職場体験学習、学校田（林）活用、ボランティア活動など、総合的な学習の時間に多彩なプログラムが実施されており、地域の有識者を招いての郷土学習を行うなど地域に誇りと愛着を持つ学習が重視されている。</p>	<p>朝食をとる小学校児童の割合</p> <p>【H32 目標】 100.0%</p> <p>【H28 実績】 95.7%</p> <p>【H22 実績】 93.8%</p> <p>朝食をとる中学校生徒の割合</p> <p>【H32 目標】 100.0%</p> <p>【H28 実績】 87.0%</p> <p>【H22 実績】 88.7%</p>	<p>⑥健康福祉課や農林振興課と連携を図りながら、引き続き学校給食への町内農林畜産物の利用促進や保健活動と連携した食生活指導、健康づくり推進を行い、健全な食生活及び食習慣を養うための取り組みを展開していく。</p> <p>⑦引き続き、学校と地域が連携し体験学習や郷土学習を展開する中で、環境教育や感性教育、地域教育を推進し、社会や人々と豊かに関わり合える子どもを育成する。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>⑧一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図りながら確かな学力を育み、子どもの豊かな創造力と個性を伸ばす教育を進めてきた。</p> <p>⑨「飯豊町学校・幼児教育環境将来構想」に沿って、小学校の統廃合を進めるための協議は行っていない。</p>	<p>⑧個性を活かし確かな学力を育む（ほぼ達成）</p> <p>◇子どもの興味・関心を高め、豊かな心で未来を生き抜く力を身につけさせるための学校生活支援や、子ども主体の学校行事の支援を行ってきた。各校とも、学習発表や学校行事、ボランティア活動、児童生徒会活動等あらゆる場面を通して、自分の思いや考えを伝え合い、共に高め合う取り組みが継続的になされている。</p> <p>◇学習習慣の定着と学力の向上を目指し、中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」を継続して開講し、平成28年度は、各学年20回開催した。</p> <p>⑨小学校の再編統合</p> <p>◇第二小学校（未達成）</p> <p>◇手ノ子小学校（未達成）</p> <p>◇添川小学校（未達成）</p> <p>3校とも、保護者や地域に対する統合に関する説明や協議を行っていない。平成28年度に学校再編に向けた小学校適正配置基本計画を策定した。</p>		<p>⑧引き続き、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図る。</p> <p>中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」については、平成29年度においても引き続き実施し、各学年20回の開催を予定している。</p> <p>⑨引き続き、子どもの立場にたった望ましい教育環境実現を最優先に捉えた上で、小学校適正配置基本計画に基づき小学校再編を進めるために、保護者や地域との協議を深め学校統合について理解を求める。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(2) 教育施設の整備</p>	<p>①耐震化優先度調査結果に基づき、平成 23 年度までに第一小学校及び手ノ子小学校の耐震診断を実施し、平成 24 年度に中津川小中学校体育館棟の耐震診断を実施した。 診断結果に基づき耐震補強工事の実施を計画的に実施する。</p> <p>②児童生徒の安全を確保するための危機管理体制の確立と地域の連携の構築を目指した。</p>	<p>①学校施設の耐震化（達成） ◇耐震診断及び耐力度調査の結果「危険性がある」と判定された部分が大半を占める第一小学校の改築事業は、平成 28 年に校舎の建設工事が終了し、これによりすべての学校において耐震化が図られた。</p> <p>②危機管理体制の確立（ほぼ達成） ◇学校施設のセキュリティー強化のために、施設警備保障業務を強化し、防犯カメラ・防犯ライト・玄関への電気錠の設置を行っている。 ◇防犯協会や P T A の活動を中心として防犯パトロール活動の強化を行った。 ◇飯豊町行政情報配信システム等を活用し、小中学校全校で携帯電話機への緊急メール配信の運用を行っている。 ◇通学路道路交通安全プログラムに基づき、平成 28 年度は手ノ子小学校の通学路の合同点検を実施した。（平成 27 年度は第一</p>	<p>小中学校耐震化率 【H32 目標】 100% 【H28 実績】 100%</p>	<p>①耐震化計画を着実に実行し、昭和 56 年以前建設の学校施設全ての耐震診断結果に基づき、平成 28 年度に必要な施設の耐震補強工事が終了した。 平成 29 年度は、第一小学校旧体育館の解体工事を実施する。</p> <p>②関係機関と連携し、引き続き、児童生徒の通学路の安全確保に努めるとともに、学校施設の防犯体制の確立及び危機管理体制の強化を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>③地域情報通信基盤整備推進事業により、全校で光通信による高速インターネット接続が可能となっている。また、パソコンや電子黒板等のICT環境を整備し、子どもたちの情報活用能力の育成を図っている。</p> <p>④スクールバスの運行を委託方式により実施する中で、遠距離児童生徒の通学手段の確保を図るとともに、学校行事、学習活動や部活動等に活用している。</p> <p>⑤教育施設の更なる充実に向けて、学校の要望を踏まえて、施設整備や備品購入等の事業を計画的に進めてきた。</p>	<p>小学校、第二小学校及び添川小学校で実施)</p> <p>③情報機器教育の充実（達成） ◇更なるICT環境の充実を図るため、第一小学校校内LANシステム整備事業及び飯豊中学校校内無線LAN増設事業を実施するとともに、第二小学校、手ノ子小学校、添川小学校の教育用パソコン及び周辺機器等の更新・整備を行った。</p> <p>④スクールバスの運行業務の充実（達成） ◇平成28年度は、3号車の更新を行った。又、スクールバスの運行にあたり、学校及び関係機関と調整を計りながら、適正な運行を行った。</p> <p>⑤学校施設整備（達成） ◇平成28年度は、第二小学校体育館防水改修工事や手ノ子小学校会議室床修繕工事、飯豊中学校放送設備修繕工事をはじめ、各種修繕工事を実施するとともに、第二小学校歩行型除雪機購</p>		<p>③ICT機器の計画的な更新を行うとともに、更なるICT環境の充実を図り、情報化社会に対応できる子どもを育てる。</p> <p>④引き続き、スクールバスの適切な運行に努める。</p> <p>⑤引き続き、計画的に施設整備や備品整備を進める。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		入や添川小学校ブラインド購入 など学校備品の充実を図った。		

(重点項目) 生涯学習活動の推進

◇目標 地域の特色を生かし、創意工夫による生涯学習活動を展開し、明るく活力に満ちた地域づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 学習環境の整備</p>	<p>①町民総合センターや地区公民館を中心とした生涯学習環境の整備・充実を促進した。</p>	<p>①生涯学習環境の整備・充実 (達成) 主なところでは、東部地区公民館の屋根塗装、中部地区公民館に手すりを設置したのを始め各地区公民館の修繕を行った。また、分館施設整備事業では、旭分館、荻分館、萩生町上分館、等の一部修理について、分館施設整備事業により助成を行い、分館の老朽化や修繕に対応した。</p>		<p>地区公民館施設の適宜適切な修繕等を行なうとともに、老朽化が進む分館施設の改善について、啓発・指導に努め、より計画的な整備を推進する。</p>
	<p>②家庭、学校、地域が連携し、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動環境の充実に努めた。</p>	<p>②子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動環境の充実 (達成) 各地区公民館で開催する各種事業（講座・講習会等）や文化祭などの活動を通して、家庭、学校、地域が連携し、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動機会の提供に努めた。</p>		<p>公民館活動を中心に、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動の充実に努め、子どもたちの健全育成や社会力の向上を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(2) 学習機会の充実	①地域の要望や要請に応えられる魅力的な学習機会の充実や学習情報の提供に努めた。	①魅力的な学習機会の充実と学習情報の提供（達成） 各地区公民館から選出され、町から委嘱を受けた社会教育推進員、青少年育成推進員たちが、主に公民館事業活動を中心に支援協力を行った。また、各地区公民館で開催される事業については、積極的にホームページを活用するなど魅力的な学習機会や学習情報の提供に努めた。 また、今年度より天文愛好会ペルセが発足したことにより、天文台の利用者が増加し、天文教育の普及に努めた。	地区公民館（5館） 利用者数 【H32 目標】 58,000人 【H28 実績】 42,679人	生涯学習への期待や要望などの把握に努めるとともに、各地区公民館の事業などを通して、学習・研修機会の提供、相談体制の充実やインターネットを活用した情報提供を推進する。 また、学校教育・社会教育両面から天文台を活用した学習活動を推進する。
	②自治組織・PTA・子ども会育成会などの地域活動やNPO・ボランティア団体の活動を支援した。	②子ども会育成会等の地域活動やボランティア団体の活動支援など（一部達成） 子ども会育成会活動の振興を図るため、各地区子ども会育成会連絡協議会を通して、単位育成会に対して事業活動費の一部を助成した。高校生ボランティアについては、これまで支援してきた団体の活動休止以降、新たな団体の育成ができないでいる。		今後も、各地区子ども会育成会に対し、活動支援を行っていく。 特定非営利活動法人いいでスポーツクラブキララとスポーツ少年団・公民館との連携を推進する。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(3)文化財保護と利活用	①文化財の保護	<p>①文化財の保護（達成）</p> <p>萩生城址・萩生石箱遺跡両公園の維持管理を実施。特に萩生石箱遺跡の復元住居の維持管理に使用する茅を採集し、H29年度の使用のために乾燥を進めた。また3基の石造物に対して化学的な保存処理を実施した。開発事業に対して埋蔵文化財保護法に則った遺跡の確認を町内3ヶ所で実施。寄贈していただいた樋口茂七家文書を収蔵した。</p>		<p>今後も既に県・町に指定されている文化財だけではなく、古文書・遺跡・有形文化財・無形文化財・天然記念物など、飯豊町の歴史と文化を象徴する文化財群について保護・保存・継承を図る。</p>
	②地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。	<p>②歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくり（達成）</p> <p>萩生城址・宇津峠・上屋地遺跡において発掘調査を実施し、飯豊町遺跡発掘調査報告書を発刊した。常福院・本長寺において木造神仏・神仏の悉皆調査、「菅笠づくりの周辺技術」を中心とした中津川の生業技術の調査と映像化を実施した。また宇津峠の裸杉を町の文化財に指定。地域史学習会・古文書研究会・講演・展示・広報を通して地域に歴史文化を学ぶ機会を提供。土器作り体験など公民館活動を支援。また飯豊町歴史文化基本構想の策定を推進した。</p>		<p>飯豊町内で歴史上重要な位置付けがなされている史跡や文化財について調査研究を推進し情報を集積。本来の価値を明らかにすることで、新たな指定文化財へ位置付け、学習会の題材として取り上げるなど、飯豊町の魅力ある文化の周知を進め、文化財を後世に伝える意識を地域内に醸成する。また公民館活動や、歴史文化の研究・活用を進める団体の活性化に協力することで、人材の育成を図る。</p>

(重点項目) 生涯スポーツ活動の推進

◇目標 生涯をとおしてスポーツに親しみ、スポーツをとおして人々との交流や健康づくりができる環境づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) スポーツ環境の整備	①町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場などのスポーツ施設を管理・運営し、施設利用の促進を図った。	①社会体育施設の管理・運営と利用の推進 (達成) スポーツ施設の管理・運営の一部業務を指定管理又は委託し、適切な管理・運営がなされるよう指導・支援した。 施設管理面では、各スポーツ施設の維持管理に努め、町民グラウンド管理棟の屋根塗装、スキー場の照明設備補修や圧雪車整備修理、リフトワイヤー等の修繕を行なうなど、スポーツ施設全般にわたり環境整備に努めた。		スキー場、スポーツセンター、プール、野球場、中津川体育館などのスポーツ施設の利便性と安全性を確保し、利用の拡大を図るため、継続して各施設の維持管理や整備に取り組む。
(2) スポーツ活動の推進	①生涯スポーツの実現に向け、一人1スポーツを目標に体育協会、特定非営利活動法人いいでスポーツクラブキララやスポーツ推進委員会など各種団体を支援・育成するとともに連携し既存施設の利活用を図った	①生涯スポーツの実現に向けた取組み(達成) 町体育協会(地区体協、スポーツ団体を含む)及びいいでスポーツクラブキララの事業活動の指導・支援を行った。 特にいいでスポーツクラブキララの運営面においては、スポーツ少年団や地区公民館の参画により、施設利用や事業面での連携が図られ、スポーツ活動の	町民スポーツセンター利用者数 【H32 目標】 12,000人 【H28 実績】 11,624人	いいでスポーツクラブキララについて、町民への啓発やクラブ運営の充実を図り、特に一般会員数の増加に努め、自立したクラブ運営の基盤づくりを推進するとともに、クラブ事務局体制の充実を図る。 また、スポーツ少年団にあっては、引続き魅力

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②全国白川ダムマラソン大会などのスポーツイベントの開催によりスポーツ人口の増加を図った。</p>	<p>推進及び文化活動にも取り組んだ。</p> <p>②スポーツイベントの開催（達成） 全国白川ダム湖畔マラソン大会や4年に1度オリンピック開催年に行われる第19回町民スポーツフェスティバルを町体育協会、各地区体育協会、スポーツ推進委員会等の協力を得て開催した。</p>	<p>いいでスポーツクラブキララ会員数 【H32 目標】 400人 【H28 実績】 366人</p>	<p>ある団運営と指導者の資質向上を図り加入率の向上に努める。</p> <p>全国白川ダム湖畔マラソン大会を町民の健康・交流の象徴的な事業（イベント）と位置づけ、町民のほか町外・県外からの多くの参加を得て開催できるよう運営方法の改善に努める。</p>
<p>(3) 競技力の向上</p>	<p>①各競技指導者の人材確保と指導力育成を図り、小学生から社会人までの競技力の向上を図った。</p> <p>②生徒児童の運動能力の向上を目指した。</p>	<p>①指導者のための研修会・講習会の開催など（一部達成） 小中学生の運動能力向上に向けた小学生陸上教室（指導者講習会）を行った。 スキー指導者講習会については小雪のため中止になった。</p> <p>②スポーツ教室の開催（達成） ジュニア陸上教室、親子スキー教室を開催した。</p>	<p>児童の運動能力 （小学5年・全国平均を上回る種目数の割合） 【H32 目標】 70.0% 【H28 実績】 81.3%</p> <p>生徒の運動能力 （中学2年・全国平均を上回る種目数の割合） 【H32 目標】 80.0% 【H28 実績】 87.5%</p>	<p>今後も小中学生の運動能力向上に向けた児童生徒及び指導者のための研修会の開催を継続する。</p> <p>競技力や運動能力向上のため、陸上・スキー等のスポーツ教室の開催について、今後も継続する。</p>

(重点項目) 子育て環境の整備

◇目標 「飯豊町次世代育成支援行動計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 子育て支援サービスなどの充実</p>	<p>①産休明け保育や一時保育、放課後児童クラブなど多様なサービスを展開し、子育てしやすい環境整備を図ってきた。</p>	<p>①産休明け保育の実施（達成） 出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育（生後2ヶ月～6ヶ月）を実施している。 ◇延長保育の実施（達成） 全児童施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施している。</p> <p>◇一時保育の実施（達成） NPO法人「ほっと」との協働の取り組みによる委託事業として実施している。</p>	<p>保育施設待機児童数 【H32 目標】 0人 【H28 実績】 0人</p>	<p>①次世代育成支援行動計画の後期計画を包含し作成した子ども・子育て支援計画に基づき、子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制整備、NPO法人との協働の取り組みの推進など総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。 ◇幼児施設教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。 ◇将来の保育需要の動向や出生数の推移等を見定めながら、低年齢児の保育ニーズに適切に対応するため、子ども・子育て支援新制度や幼保一体化の議論なども踏まえ、就学前児童にとって望ましい保育環境について、幼児教育環境将来構想に基づき実現していく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②「めざみっ子カリキュラム」に沿い、小学校と幼稚園・保育園等との交流・連携・情報交換を図ってきた。</p>	<p>◇放課後児童クラブの実施（達成） すべての小学校区に放課後児童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生まで拡大し実施している。</p> <p>◇ファミリー・サポート・センターの運営（達成） 育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を会員とする相互援助活動を組織化することにより、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て力を高めていくことを目的とし運営している。（平成28年度末 会員数92人 利用件数202件）</p> <p>②幼保小の連携（達成） 就学予定児を対象とした給食体験や交流活動、就学後の授業参観など小学校との連携は十分に図られてきている。</p>		<p>◇小学校の児童に対して、授業の終了後等に余裕教室などを利用して適切な遊びの場及び生活の場を与えるとともに、その健全な育成を図るため学童クラブを継続して開設し、放課後児童対策の充実に取り組んでいく。</p> <p>◇利用件数の増加や依頼内容の多様化に伴い、特に、子育てをサポートする協力会員の人員確保と講習会などで安全管理等の研修を積み重ねていくことが求められており、会員間の交流会の開催をとおして信頼関係を築きながら安心安全なサポート活動を提供するとともに、引き続き事業啓発に取り組んでいく。</p> <p>②幼保小連携スタートプログラムの意義を十分に理解し、幼保小の連携と情報交換を一層進めていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>③園の畑での作物栽培や地場農産物を利用した手づくりおやつ提供などの食育の推進、高齢者との世代間交流事業の実施、伝統芸能（獅子舞や太鼓）など農村文化を体験する活動に取り組んできた。</p> <p>④こどもみらい館の活動を中心に子育て講座や、ブックスタート、あそびの広場等の各種広場を開設し、子育て世代の交流支援と、子育てサークルの活動支援を行ってきた。</p> <p>⑤平成28年度より教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園「飯豊わくわくこども園」を整備した。</p>	<p>③食育の推進など（達成） 地場農作物や、園の畑から収穫された旬の食材を給食やおやつに利用し、畑の先生の指導を受けての野菜栽培体験や生産者との交流、栄養士との連携による園児・保護者への「食育」の啓発、祖父母参観の実施や、食改グループ、高齢者団体、地域住民との交流が行われている。また、獅子舞など農村文化を体験する機会を創出している。</p> <p>④こどもみらい館の運営（ほぼ達成） 子育て支援センターを併設した自由来館型児童館として、未就学の子どもと保護者、小学生等の集いと交流の場を提供するとともに、育児相談や情報提供などの子育て支援を実施している。子育てサークルとの連携による交流促進を図っているものの、組織拡大に向けたさらなる支援が必要である。</p> <p>⑤幼保連携型認定こども園（達成） 平成28年4月から、旧さゆり保育園を乳児部、旧中部幼稚園を幼児部とし、年齢別の教育・保育を行っている。</p>	<p>こどもみらい館利用者数 【H32 目標】 10,000 人 【H28 実績】 7,624 人</p>	<p>③引き続き、子どもたちが農村の豊かさを実感できるような食育教育の推進と高齢者の方などとの交流による保育・幼児教育の推進に取り組み、ふるさとに対する愛情を醸成していく。</p> <p>④こどもみらい館を中核としながら、集いと交流の場と子育て情報を提供し、引き続き子育て世代の連携と支援に取り組んでいく。</p> <p>⑤全ての子どもに質の高い幼児期の学校教育及び保育の総合的な提供を行うため幼児施設の2園化に向けて取り組んでいく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(2)子育て家庭の負担軽減	①保育施設等の利用者負担の軽減を実施し、子育て世代の経済的負担を軽減してきた。	<p>①保育園保育料幼稚園保育料及び児童センター使用料の軽減（達成）</p> <p>◇保育園保育料の軽減（達成） 保育料の負担階層区分の変更など保育料算定基準の見直しを行うとともに、低所得者世帯及びひとり親世帯の負担軽減措置を平成28年4月から実施している。</p> <p>また、平成28年4月から、入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無料化している。保育園への複数人の同時入所の場合、二人目の軽減額を拡充し、1/3の額としている。</p> <p>◇幼稚園保育料及び児童センター使用料の軽減（達成） 平成28年4月から、入園児の保護者負担金を月額12,500円から10,000円に引き下げ、同一世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無料化している。また、平成28年4月から、幼稚園等へ複数人の同時入所の場合、二人目から5,000円を減免している。</p>		①今後も、保育料等の軽減策を継続し、保育サービス利用者など子育て家庭の経済的な負担軽減を図っていく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②幼稚園等入所児童への給食提供を実施し、育児や家事の負担軽減に取り組んできた。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスに町のスクールバスを利用し、利用者負担金の軽減を図ってきた。</p> <p>④東日本大震災による被災児童を受入れし、保育料等の支援に取り組んできた。</p>	<p>②幼稚園等入所児童への給食提供（達成） 幼稚園と児童センターに、学校給食共同調理場からのおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスの運行（達成） 園児の送迎バスとして、スクールバスを活用し運行するとともに、運転手の人件費、燃料費等を負担している。また平成26年度から添乗員の保険料、人件費の一部を助成している。</p> <p>④東日本大震災による被災児童の受入れ（達成） 保育園2名、児童センター1名、2施設計3名を積極的に受入れし、保育料の免除等の支援を実施している。</p>		<p>②今後も、栄養士が献立し、栄養バランスに配慮した、安全でおいしいおかず給食の配食を実施していく。また、小学校等の長期休業期間中におけるおかず給食の配食について検討していく。</p> <p>③利用人数の増減により、利用者負担金の増減、添乗員手当の増減が生じないような各園で一定程度の均衡が図られるように配慮したルールづくりを検討していく。</p> <p>④今後も、被災児童を積極的に受入れし、被災者支援として継続して取り組んでいく。</p>

(重点項目) 多様な芸術文化活動の推進

◇目標 誰もが、どこでも、芸術文化に親しみ、感動の機会に触れることのできる環境の整備を進めるとともに、芸術文化団体の創造的な活動に対して、支援します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 音楽からのまちづくりの推進</p>	<p>◇音楽指導者の育成や各種団体の育成に努め、めざまみの里音楽祭の開催などにより、より多くの町民が気軽に音楽に親しむことのできる環境整備に努めた。</p> <p>◇「飯豊町民の歌：ラブリーホームタウン」や、これまでに制作したオリジナル合唱曲やミュージカル曲、イメージソングなど、積極的な利活用を推進し、音楽からのまちづくりにつなげた。合唱組曲「飯豊山～我が心のアルカディア～」はめざまみの里カンタートを中心に普及を図っている</p> <p>◇「飯豊町少年少女合唱団」、男声合唱団「プロージット」各種音楽団体への活動支援を行った。</p>	<p>季節にあった歌を楽しむ「四季のうたを歌う集い」を継続して開催。町内外音楽団体との交流が図られ、各種音楽イベントで参加いただいた。(ほぼ達成)</p> <p>◇第11回めざまみの里カンタート 7月9日(土)～10日(日)開催 全国より約140人参加</p> <p>◇フェット・ド・ラ・ミュージック 6月19日(日)開催 夏至の日の音楽祭に、置賜地域から7団体が出演</p> <p>◇第21回めざまみの里音楽祭 11月12日(土)開催 町内10団体が出演</p>		<p>「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標と施策にそった事業を展開し、子どもたちや高齢者・一般町民が「音楽」をきっかけとして、地域の活性化に関心を持ってもらい、郷土愛を育み飯豊に残る(戻ってくる)ような施策を実施していく。</p> <p>さらには、音楽活動を通じた都市部等との地域間交流を展開し、入込客の増加、そして移住・定住を促す取り組みを目指す。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(2) 芸術文化活動の推進	多種多様な芸術文化活動を展開し、一人ひとりが自主的に生きがいを持って活動できるような環境整備を進めた。また、地域の祭りや伝統芸能の保存・継承に努めた。 各種芸術文化団体の活動支援及び育成に努めた。	地域に根付いている伝統芸能（椿念仏踊り）を芸能発表会の場にて多くの町民に発表する活動等を行った。 （ほぼ達成） ◇各種展示の実施 ◇第 43 回町芸能発表会 10月16日（日）開催 ◇子ども芸術鑑賞教室 6月8日（木）開催 民族歌謡団ほうねん座 「まつりのひびき」和太鼓	◆町芸術文化協会会員数 【H32 目標】 540人 【H28 実績】 338人 【H21 実績】 537人	各種芸術文化団体と連携し、多種多様な事業をサポートしていく。 芸術文化協会会員が団体の統合等で減少しており、若者の発掘や芸術文化に親しむ環境づくりの整備を図る。 芸能発表会・会員作品展を継続的に開催し、芸術文化の普及を推進する。
(3) 優れた文化・芸術に親しむ環境づくり	町民総合センターを活用し、優れた文化芸術を鑑賞する機会の充実に努めた。また、施設整備の充実に図った。 読書普及活動、図書利用環境づくりを図った。	老朽化が進む施設を、計画的な修繕を図るため、修繕計画を基に年次計画で修繕を進める。	◆町民総合センター利用者数 【H32 目標】 26,500人 【H28 実績】 25,809人 【H21 実績】 23,505人	建設から 26 年が経過し老朽化が進む施設を、修繕計画を基に計画的に修繕を行い施設維持を図る。 特に、開館以来更新していない冷温水発生機や、照明配電盤について部品の生産が中止になって、故障すれば修理不可能なため更新が必要となる。 屋根については漏水が見られたため一期、二期と分けて大規模な修理を行う必要が

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>読書普及活動図書利用促進については、利用時間を4月から6月までが午後6時まで、7月から9月まで午後7時までに時間延長した。子ども読書週間、読み聞かせ活動や出張お話広場、こどもみらい館との連携による乳幼児対象のブックスタート等を開催した。(ほぼ達成)</p>	<p>◆町民総合センター図書貸出冊数 【H32 目標】 17,000 冊 【H28 実績】 14,558 冊 【H21 実績】 14,949 冊</p>	<p>ある。優先順位を付けて計画的な予算要求が必要である。</p> <p>飯豊町に合った「あるべき図書室の姿」や司書の配置なども含め検討していく。また、蔵書数を増やすとともに、若者にも興味を持てるヤングアダルト部門の充実を図る。読み聞かせ団体を育成し、指導者養成を図り読書普及活動を推進する。</p> <p>なお図書貸出システムについて耐用年数を大幅に超えているため、更新する必要が生じている。</p>